

第 2 回つくば健康生成職域コホート調査のための予備調査（報告）

令和 6 年 7 月 10 日
筑協 労働衛生委員会
委員長 笹原信一郎

令和 6 年度秋に第 2 回となるつくば健康生成職域コホート調査（T-SOCS）の実施に向けて、令和 6 年 3 月に予備調査を実施しました。今回の予備調査では、令和 3 年度の第 1 回 T-SOCS の際に、追跡調査に協力すると回答し、メールアドレスを提供していただいた方への追跡調査の実施可能性について確認することを目的に実施しました。

内容としては、第 1 回 T-SOCS でも測定した職場のソーシャル・キャピタル（Workplace Social Capital :WSC）や抑うつ度（Patient Health Questionnaire: PHQ-9）を続けて調査しました。

調査対象者数は 1,000 名超でしたが、有効回答者数は 200 名未満でした。WSC や PHQ-9 の結果は、令和 3 年度から令和 6 年度にかけて、大きな変化はありませんでした。追跡率が 20%未満と想定よりも少ない状況であったため、回答者数が確保できるような工夫を検討しています。

令和 6 年度秋に実施予定の第 2 回 T-SOCS においてもご協力を賜れますよう、お願い申し上げます。